

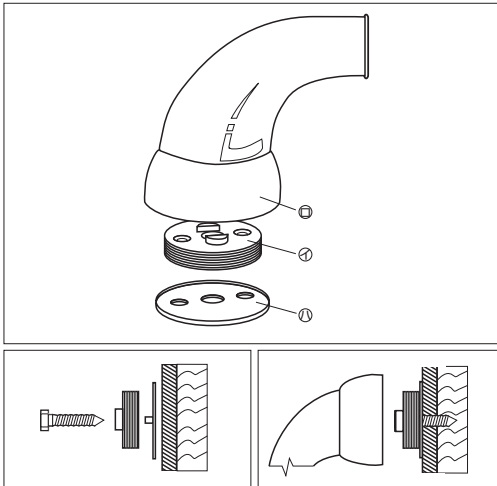
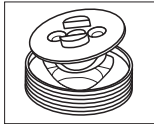
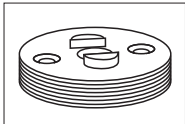
取付用ネジのご案内 ※ご注文時に「取付用ネジ」のタイプをお選び下さい。

タイプ	ネジ種類		下地駆体種類
Aタイプ		六角タッピングネジ (6mm)	コンクリート等
Bタイプ		六角ボルト (M6)	UBの壁パネル等、 補強板を使用時
		小ネジ (M4)	
Cタイプ		タッピングネジ (4mm)	木材等
		タッピングネジ (5mm) ※R2203/R2205/R2207専用	

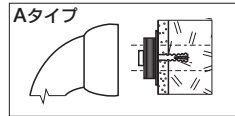
取説1 R7107／R7247／R6203／R6205／R321

- 取付手順
- 取付座 ①の下にパッキン②を敷いて壁に取付ネジでしっかり固定します。
 - 取付ナット③を取付座 ①に締め込み、完了です。

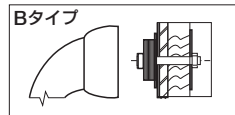
取付座の種類 対象 R321／R6203／R6205 対象 R7107／R7247



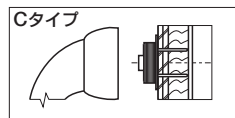
ネジタイプ別施工例



- 取付壁面に取付座を固定します。
※ コンクリートにはアンカープラグを組み込みます。
- 取付座にブラケット等の取付ナットをねじ込み完了です。
※ プラグは別売りです。



- 取付壁面に取付座を固定します。
※ 施工時壁裏の作業が可能な場合です。裏補強及び補強板で固定します。
- 取付座にブラケット等の取付ナットをねじ込み完了です。

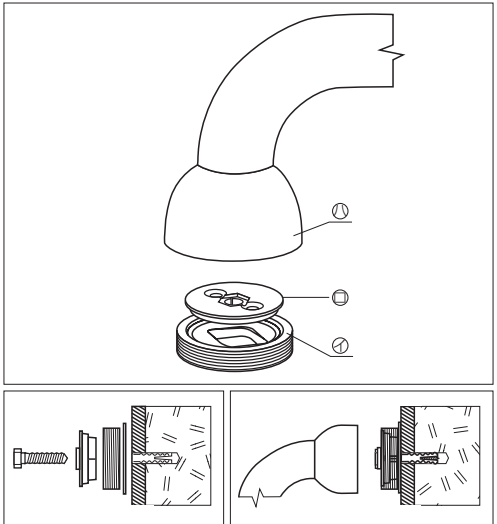
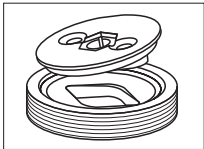


- 取付壁面に取付座を固定します。
※ パーテーションパネルの厚みが薄すぎますと、強度が保てない・取付ビスが壁裏にとび出してしまう、などの恐れがありますので、ご注意ください。
- 取付座にブラケット等の取付ナットをねじ込み完了です。

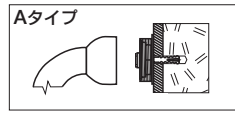
取説2 R3217-N／R3215-N／R3195-N／R3213-N-S／R3213-N-L

- 取付手順
- ①取付座Bに②取付座Aを組合せ、取付ネジにて壁に固定します。
 - ブラケットキャップ③で取付座を締め込み、完了です。

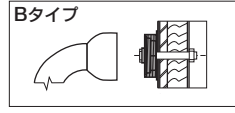
取付座の種類 対象 R3215—N／R3195—N／R3217—N／R3213—N



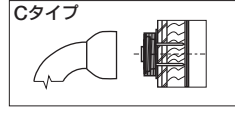
ネジタイプ別施工例



- 取付壁面に取付座を固定します。
※ コンクリートにはアンカープラグ等を組み込みます。
- 取付座にブラケット等の取付ナットをねじ込み完了です。



- 取付壁面に取付座を固定します。
※ 施工時壁裏の作業が可能な場合です。裏補強及び補強板で固定します。
- 取付座にブラケット等の取付ナットをねじ込み完了です。



- 取付壁面に取付座を固定します。
※ パーテーションパネルの厚みが薄すぎますと、強度が保てない・取付ビスが壁裏にとび出してしまう、などの恐れがありますので、ご注意ください。
- 取付座にブラケット等の取付ナットをねじ込み完了です。

取説3 R7809S／R7909S

各部品説明



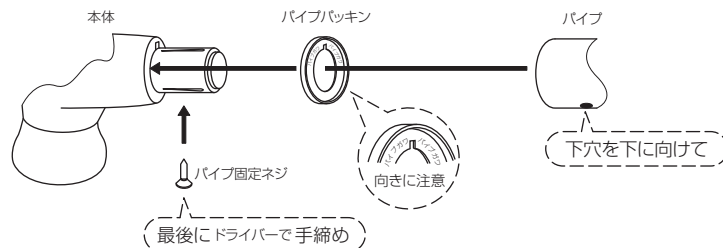
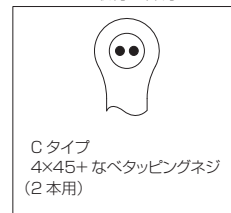
上記取付ネジはR7909Sの場合です。
R7809Sの場合は右図枠内のAタイプ、Bタイプ用いずれか1本使用してください。

※ L 型の場合は本体とパイプ(片側)を組立てから取付けしてください

R7809S 取付け部分



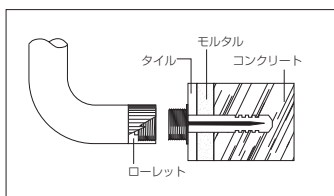
R7909S 取付け部分



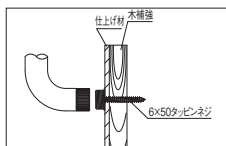
取説4 R2203／R2205／R2207

在来工法の場合

Aタイプネジをご使用下さい。

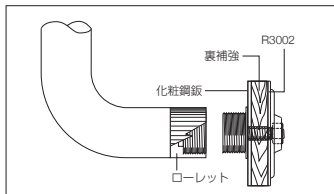


1. 取り付け壁面に左図のように座金まで固定します。コンクリートにはアンカープラグ等を組み込みます。
2. 取付座を固定しローレットをねじ込み完了です。



パネル工法の場合

Bタイプネジをご使用下さい。

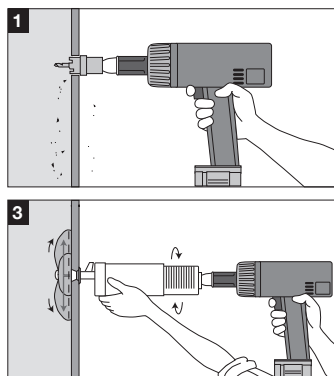


1. 取り付け壁面に左図のように座金まで固定します。施工時、壁裏からの作業が可能な場合です。裏補強及び補強板（R3002）で固定します。
2. 壁裏の補強板に取付座を固定しローレットをねじ込み完了です。

※ 本製品は、壁裏補強の有無に拘らず、石膏ボード等、強度のない壁への取り付けには対応していません。

取説5 R42-6／R42-L6（パラシュートプラグキットⅡ）

取付手順



取付座取付位置のセンターにφ20mmの穴を開けます。
(厚壁タイプはφ22mmの穴を開けて下さい。)

凝固剤を充填します。(手回しでも充填することができます。)



φ20mmの穴へ、パラシュートプラグを差し込みます。

取付座、及びニギリバーの取付ナットをしっかり止めて作業終了です。

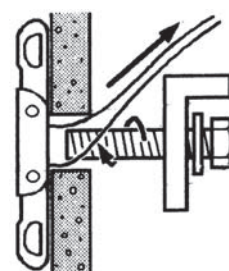
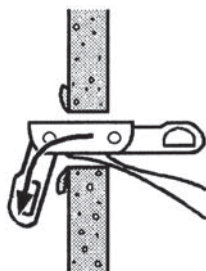
取説6 RK45-6（メカヘビー）

取付手順

1. ドリル等でφ12の穴を開ける。

2. 曲げながらメカヘビーを穴に入れます。

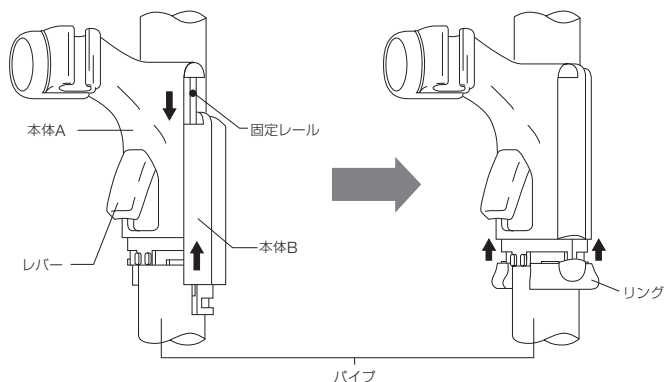
3. 引っ張って器材をボルト固定する。



取説7 R29(スライドシャワーフック)

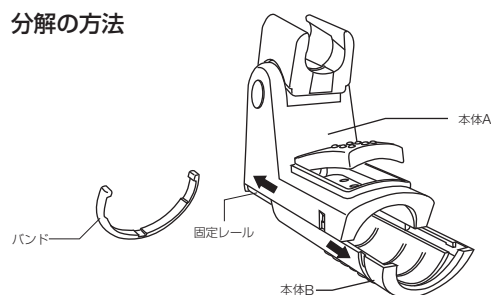
組み立て方

パイプを本体A,Bではさみ込み、固定レールをスライドさせ、リングを本体に、はめ込みます。(注)凸凹付パイプ(φ30用)に取付の際は、パイプ凸部とプッシュの凹部の位置を必ず合わせて取付けてください。



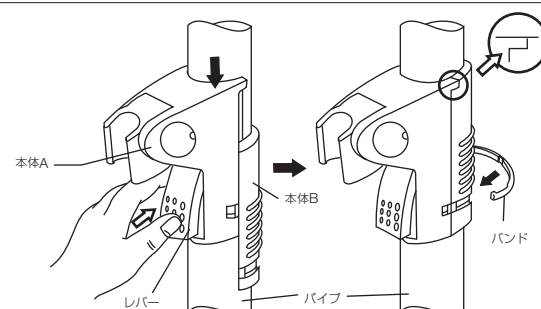
取説8 R291(スライドシャワーフック)

分解の方法



1. 組まれた状態の本体A・Bとバンドが各1個入っているか確認して下さい。
本体A・Bにある固定レールをスライドさせ外します。

取付手順



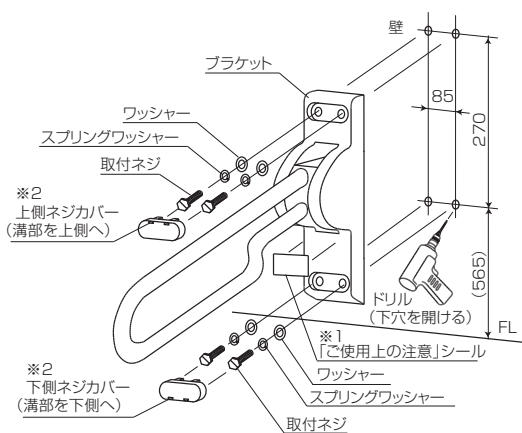
2. パイプを本体A・Bで挟み込み、レバーを押しながら本体Aを下へスライドさせてください。
3. 本体Aを本体Bの○で囲んだ部分が隙間なく当たりきるまでしっかりと押し込み、バンドが沈み込む様しっかり締めてください。

取説9 R457(跳ね上げ可動式手摺)

取付手順

左図に従って跳ね上げ可動式手すりを壁に取付け、ネジカバーをセットしてください。

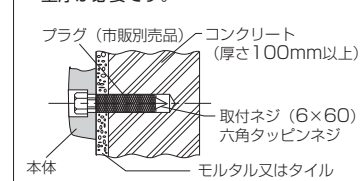
- (注)取付けネジを取付ける際は、シリコンを注入して確実に締めてください。
取付後、ご使用方法を参照し、手すりがスムーズに動くかをご確認ください。
※1、「ご使用上の注意」シールを見やすい位置にお貼りください。
※2、ネジカバーには、上下位置があります。(下図参照)



壁補強の方法

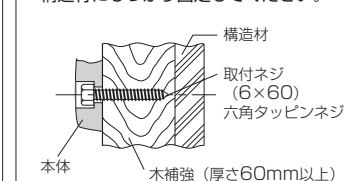
コンクリート下地の場合

- コンクリートの場合は、100mm以上の壁厚が必要です。



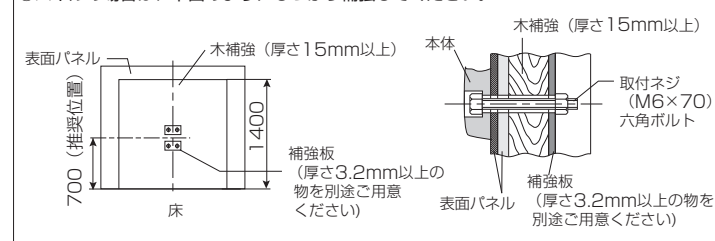
木下地の場合

- 木補強の場合は、t=60mm以上で構造材にしっかり固定してください。



ユニットパネルの場合

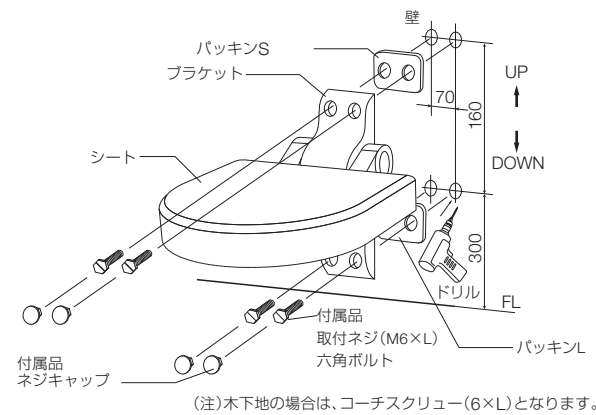
- パネルの場合は、下図のようにしっかり補強してください。



取説10 R450(ユニバーサルシート)

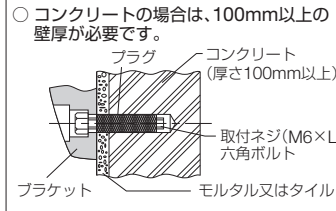
取付手順

上図に従ってユニバーサルシートを壁に取付け、ネジキャップをセットしてください。
(注)取付けネジを取付ける際は、シリコンを注入して確実に締めてください。
取付後、ご使用方法を参照し、シートがスムーズに動かすかご確認ください。

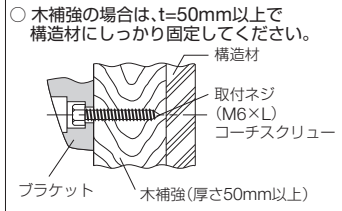


壁補強の方法

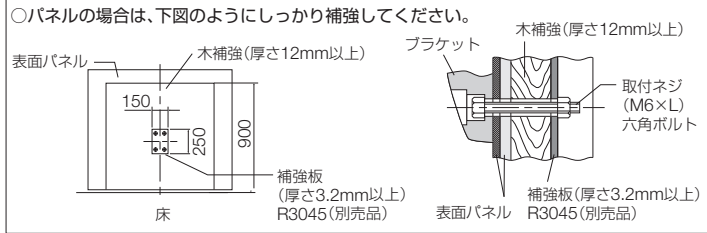
コンクリート下地の場合



木下地の場合



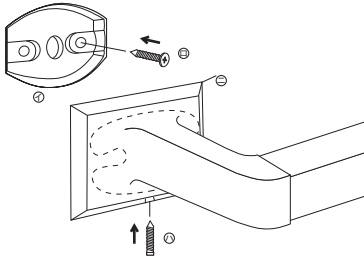
ユニットパネルの場合



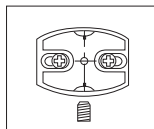
取説11 R203/R254/R1055/R1155/R1065/R251/R521/R520

取付手順

1. 取付座①を取付ネジ②で壁に固定します。
2. ブラケット③を取付座①に被せ、下部よりブラケット固定ネジ④を締め込み、完了です。

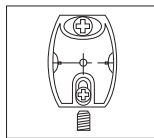


取付座の種類

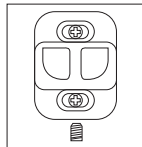


対象

R203—S R203—M
R254—A R254—B
R254—M R254—T
R251 R521

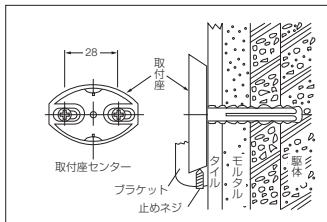


R520

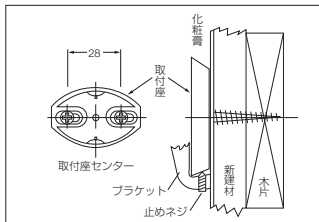


R1055
R1155
R1065—AC
R1065—AL

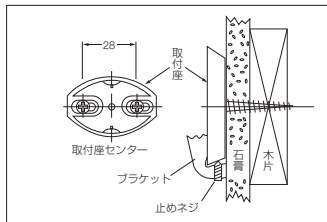
施工例



1. 取付位置のセンターを決め、ネジ穴位置を決めます。
2. タイルにジャンピング(タイルタガネ)でマークします。
3. タイル用ドリル刃φ6.4mmにて深さ30mm程度穴掘ります。
4. アンカープラグ(カールプラグ又はフィッシャープラグ)を挿入します。
5. 取付座に取付ネジを通してねじ込み、取付座を固定します。
6. 取付座にブラケットを被せて、ブラケットにガタつきがない様に、ブラケット固定ネジを締めて固定し、完了です。



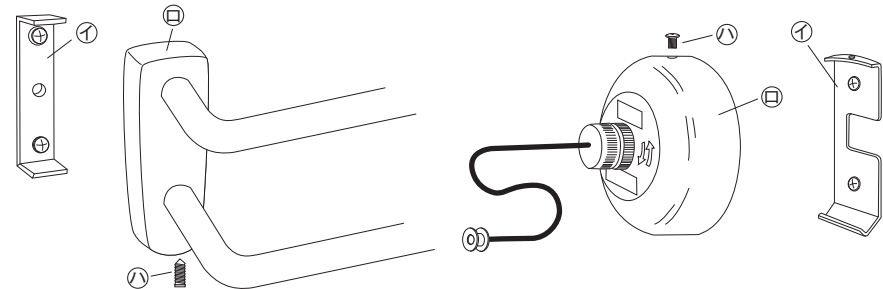
1. 取付位置のセンターを決め、ネジ穴位置を決めます。
※ 壁材が厚さ6mm以下の場合は、あらかじめ壁裏面に裏補強してください。
2. 下穴φ3mm/mを、キリ・ドリルなどであけます。
3. 取付座に取付ネジを通してねじ込み、取付座を固定します。
4. 取付座にブラケットを被せて、ブラケットにガタつきがない様に、ブラケット固定ネジを締めて固定し、完了です。



1. 取付位置のセンターを決め、ネジ穴位置を決めます。
2. 下穴φ3mm/mを、キリ・ドリルなどであけます。
※ タッピングネジですが、補強の為必ず壁裏面に裏補強してください。
3. 取付座に取付ネジを通してねじ込み、取付座を固定します。
4. 取付座にブラケットを被せて、ブラケットにガタつきがない様に、ブラケット固定ネジを締めて固定し、完了です。

取説12 R5203/R5205/RK2521

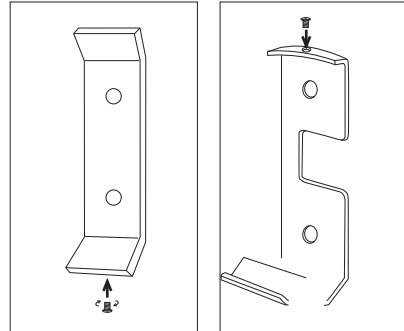
取付手順



1. 取付座①を付属の取付ネジで取付けます。
2. ブラケット②を取付座①に被せ、ブラケット下部のネジ穴に止めネジ④を締め込み完了です。

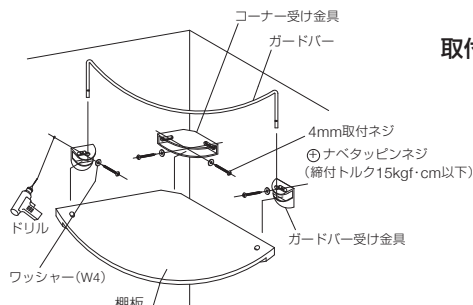
取付座の種類

対象 R5203・R5205 対象 RK2521

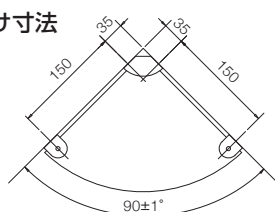


取説14 R2106

- 取付手順**
1. 取付け位置を決めネジ穴位置にキリ、ドリルなどでφ2.5mm程度の下穴をあけます。
 2. 左図の要領で壁に受け金具をしっかりと固定します。
 3. 棚板を差し込みガードバーで固定し、ガタツキがないかを確認し完了です。

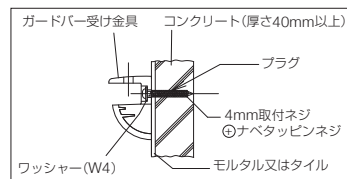


取付穴開け寸法

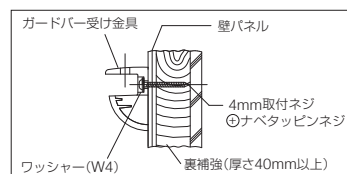


壁面種類別取付例

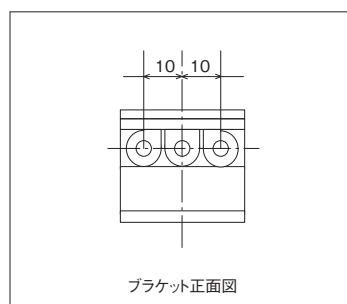
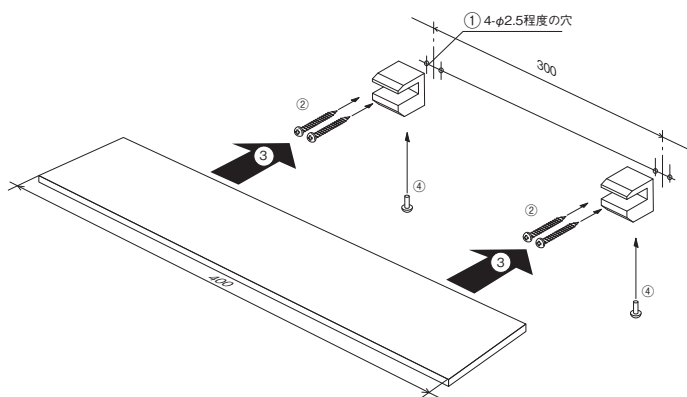
1.在来工法 (Cタイプネジ使用)



2.パネル工法 (Cタイプネジ使用)

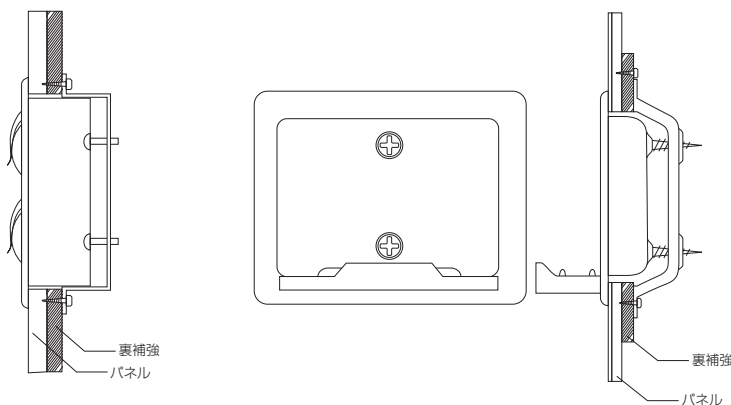


取説15 R1188(化粧棚)



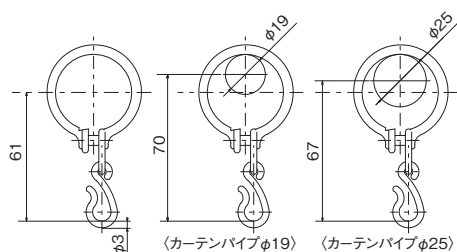
取説16 R111(インストレーションクランプ)

- 取付手順**
1. 取付位置を決め、商品ごとの所定の壁穴寸法に従って開口します。
 2. インストレーションクランプを壁裏面より取り付けます。商品に付属のネジにてインストレーションクランプと、商品を固定して下さい。



取説17 R2233(カーテンリング)／R-3(Sカンブラリング)／R501／R901／R2030／R401(シャワーカーテン)

カーテンパイプ径の違いによる、
R2233(カーテンリング)と
R-3(Sカンブラリング)の組み合わせ図

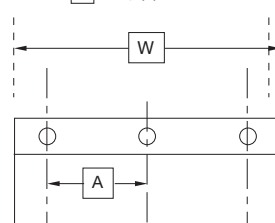


仕様タイプ



カーテンの ハト目数算出方法

W=カーテン幅
A=ハト目のピッチ



※カーテン幅が右記寸法の場合はハト目数は自動的に確定します。
※カーテン幅によってハト目のピッチが変わります。
(但し、端数を処理する為、誤差が生じます)

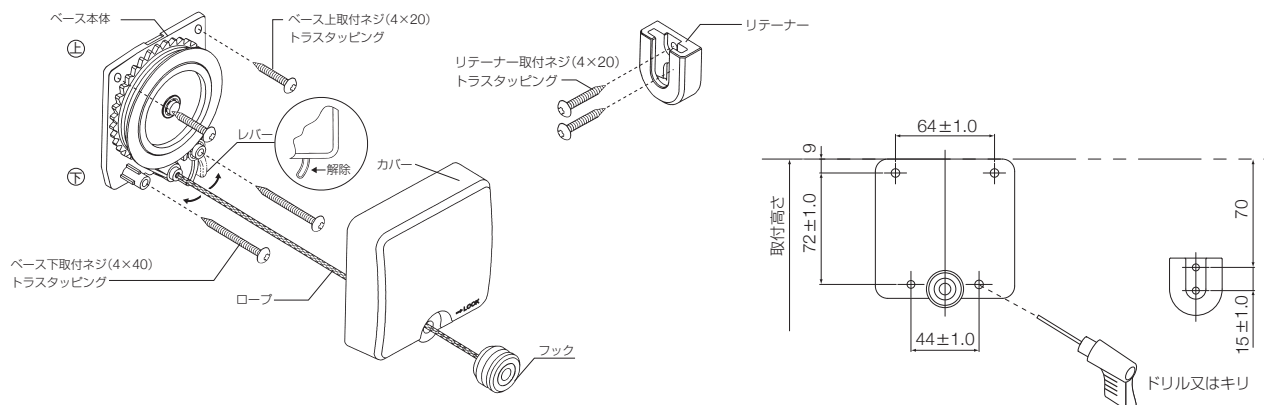
W カーテン幅	ハト目数
1000	7
1100	8
1200	8
1300	9
1400	10
1500	10
1600	11
1700	12
1800	12
1900	10
2000	10

A ハト目ピッチ
150mm前後

A ハト目ピッチ
200mm前後

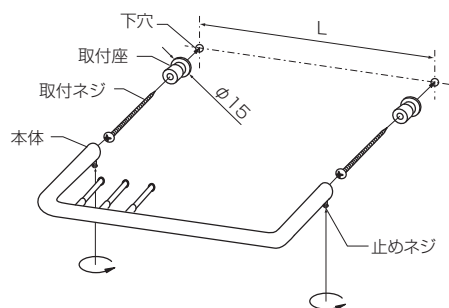
取説18 R2511(物干しロープ)

展開図



取説19 R271(カサ掛)

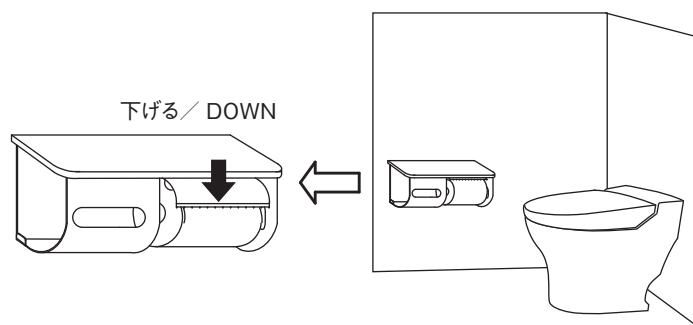
取付方法例 ※表面がタイルの場合は割れないように注意してください。



- ・強度の弱い、壁裏に補強のついていない、表面に大きい凹凸がある壁の場合には取付けないでください。
- ・コンクリート壁の場合は樹脂プラグ等をご使用ください。
- ・壁表面がタイル貼の場合
 - 表面硬度のないタイル、平面の出ていないタイルには取付けないでください
 - 目地にネジをお取付の場合は、目地の寸法にご注意ください。(目地寸8mm 深さ6mm以内推奨)
 - 施工時にはタイルが割れないようにご注意ください。
- ・取付けの際は、取付座を壁に完全に固定してください。固定が不完全な場合、ガタツキの原因となります。

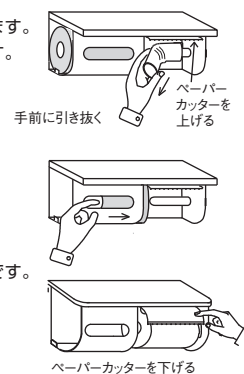
取説20 R3835L/R-K(ペーパー盗難防止鍵付棚横2連ワンハンドペーパーホルダー)

取付方法例 ※カッターが手前になるように、設置して下さい。(本図は、Rタイプです) ※ご使用の際は、必ずカッターを下げてお使いください。



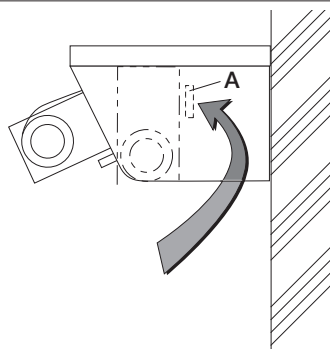
ペーパー交換の手順

1. ペーパーカッターを上げロックします。残りペーパーを手前に引き抜きます。
2. 予備のペーパーをスライドしペーパーを装填します。
3. ペーパーカッターを下げて補給完了です。

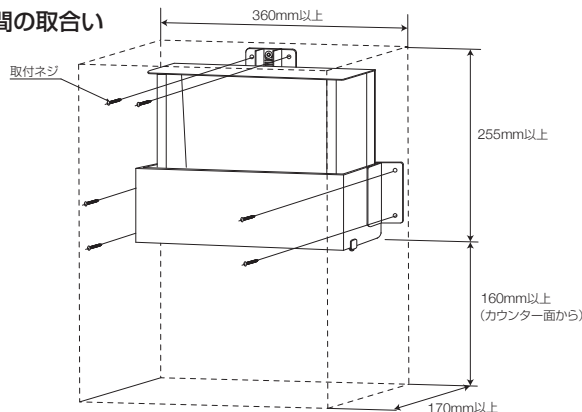


取説21 R3845(棚付ペーパーホルダー)

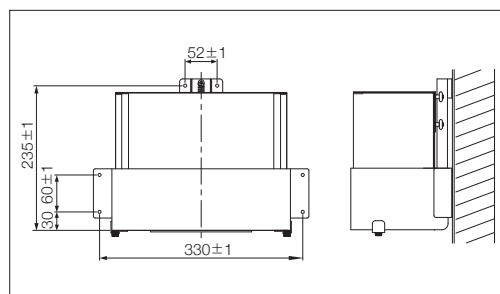
ペーパー交換の手順 本体下側から手を入れ、A部分のロックを解除するとアームが自動的に手前に出てきます。 ※ペーパーのある時はA部分に手が届かない盗難防止設計になっています。



ご使用に必要な空間の取合い

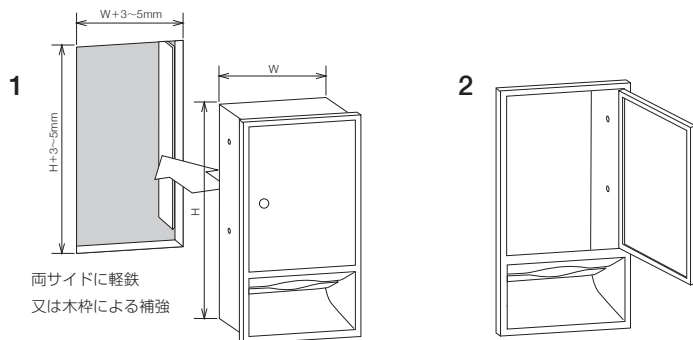


取付穴ピッチ

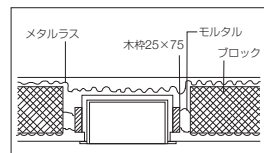


取付手順

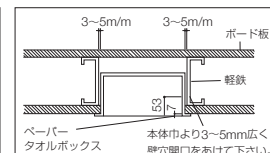
1. 本体埋め込み部分より3~5mm広く壁穴開口を開けてください。
2. 床との水平を確認し、ボックスの内側からタッピングネジで固定します。



下地コンクリートブロックの場合



下地軽鉄の場合

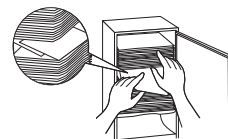


紙タオルのセットのしかた

紙を積み重ねる場合、1パック目最後の紙と2パック目の最初の紙を抱合せてください。

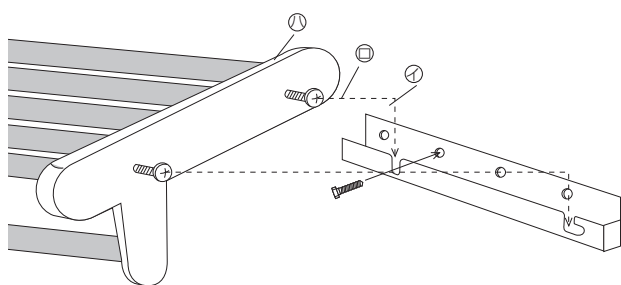
使用可能タオル寸法
230×230mmの紙の大きさで折り方により合わない
種類があります。

- (三)三つ折り(77×230)mm(R2841用)
- (二)二つ折り(115×230)mm
(R2841以外)



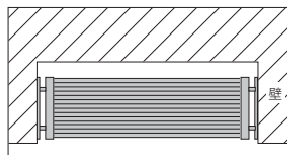
取付手順

1. 取付板①をサイド壁に取付けます。
2. ①本体にボルトをねじ込み(アジャスト可) ①にはめ込みます。

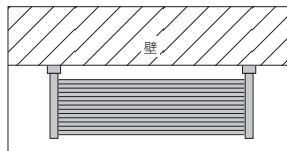


壁に適した製品ガイド

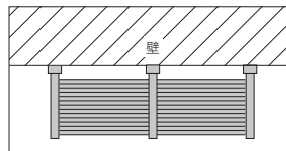
両サイド壁の場合—R2615



サイド壁が無い場合—R2606

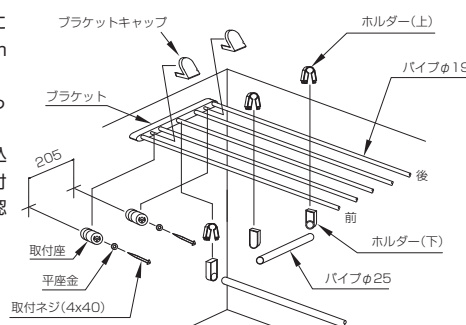


間口が2,000m/m以上の場合—
R2606のみ、R2615は特注可
(センターブラケットR2606-Sの
ジョイントにて対応)



取付手順

1. 取付け位置を決めネジ穴位置にキリ、ドリルなどでφ2.5mm程度の下穴をあけてください。
2. 左図の要領で壁に取付座をしっかり固定してください。
3. 棚部分を組立て取付座にはめ込み、ブラケットキャップを取付ける。ガタツキがないかを確認し完了です。



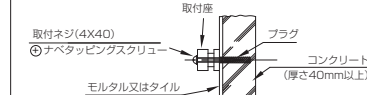
○品番R2524と品番R2625ではホルダーとハンガーパイプの25の位置が変わります。

壁面種類別取付例 ●下記に従って壁補強して下さい。

(注)壁補強が不十分な場合、壁が破損したり、棚が脱落するおそれがあります。

コンクリート下地の場合

コンクリートの場合は40mm以上の壁厚が必要です。



木下地の場合

木下地の場合は $t=40\text{mm}$ 以上で構造材にしっかり固定して下さい。



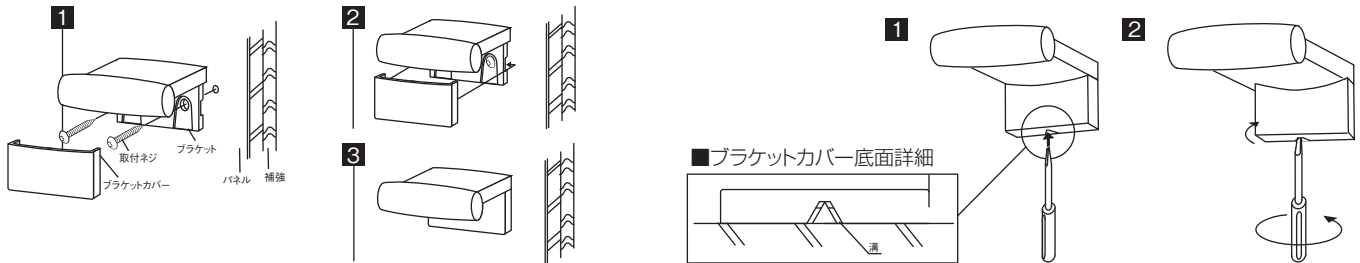
取説26 R1303 / R1304 / R1305

取付手順

- ・タオル掛はパイプをブラケットに差し込み組立てをしてから施工します。
- ・裏補強されているパネルの表面に、取付位置を決めます。
- ・取付位置にドリル等で $\phi 3\text{mm}$ 程度の下穴を開け、取付ネジでブラケットをしっかりと固定して下さい。
- ・ブラケット固定後、ブラケットカバーをブラケットカバーの爪とブラケットの溝を合わせるように押し込んで固定して下さい。

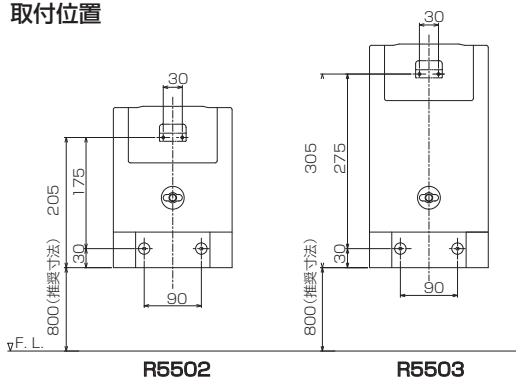
ブラケットカバー取外し方

- ・ブラケットカバー下部の溝にードライバーを奥まで差し込みドライバーを回してブラケットカバーを外して下さい。



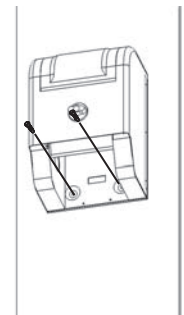
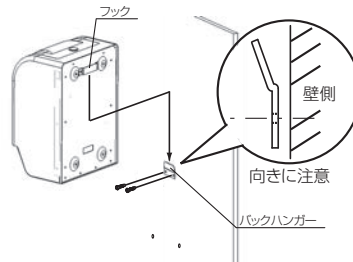
取説27 R5502 / R5503 / R5544 ボックス型ペーパーホルダー

取付位置



取付手順

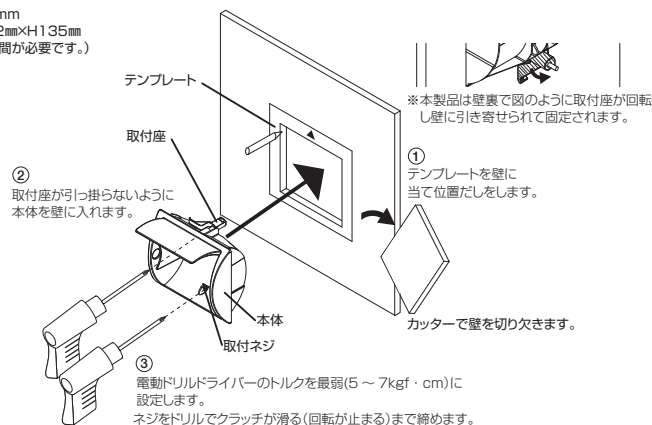
1. 上図、取付位置を参照に、位置を決めて壁バックハンガーを取付けます。
2. バックハンガーに本体裏のフックを引っ掛けます。
3. 本体下側を取付ネジで固定します。



取説28 R3978 ペーパーホルダー(半埋込型)

取付手順

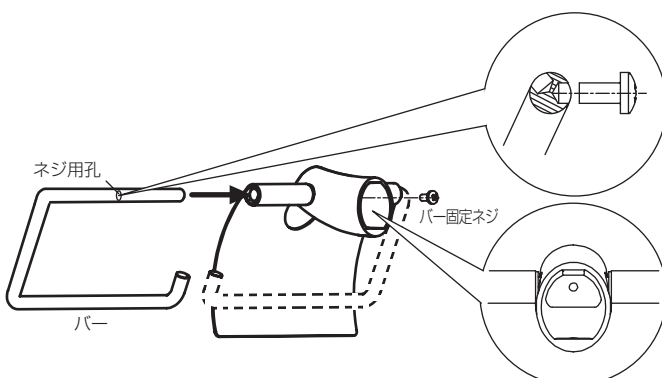
取付対応壁厚 12.5mm
壁開口寸法 W142mm×H135mm
(壁裏に70mm以上の空間が必要です。)



取説29 R1605 / R1615 1600・シリーズ ペーパーホルダー

付け替え手順

- ① ブラケットの中のバー固定ネジをはずします。
- ② バーをブラケットから取り外し、逆向きに差し込みます。
- ③ ブラケットを裏から見てバーの孔が見える位置でバー固定ネジでバーをしっかりと固定して下さい。



※平面に置くと位置が合わせやすいです。

取説30 R448 オートハンドソープディスペンサー

取り付けに適した場所

- ・壁面が丈夫なところ……………弱い壁面(コンパネ[6mm以下]や石膏ボード等)の場合は、補強材で補強してください。落下により故障や思わぬケガの原因となります。
- ・熱気や凍結のないところ……………直射日光や調理器具・暖房器具などの熱の影響を受けると、火災の原因になることも考えられます。周囲温度が0℃以上、35℃以下のところに取り付けてください。
- ・火気のないところ……………火または火花を生じる器具のそば等への取り付けは行わないでください。
- ・湿気が少ないところ……………湿気の多いところや、水のかかるところに取り付けますと、錆や作動不良を発生する恐れがあります。
- ・直射日光が当りにくいところ……………直射日光があたりますと、誤動作の原因となります。

取付方法

①取り付け位置、壁の確認

- ・取り付けの壁がコンクリートの場合は、プラグ、タッピンねじセット(付属品)を使用してください。
- ・弱い壁面(コンパネ[6mm以下]や石膏ボード等)の場合は補強材で補強してからタッピンねじ、もしくはバラシュートビス(付属していません)をしてください。



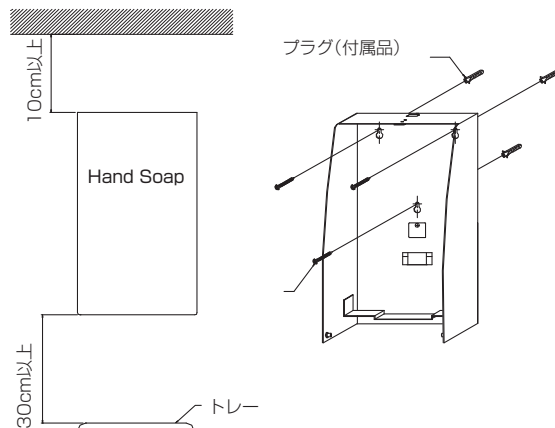
・本体下面から対象物まで30cm以上のスペースを確保しないと、対象物からの光の乱反射により誤作動する場合がありますので、あらかじめ乾電池を装着し(乾電池の装着・交換方法参照)、誤作動しないことを確認してから取り付けてください。

②本体の取り付け

- ・裏箱の穴に合わせて、壁面に穴をあけ、ネジ等で固定します。



- ・壁面がコンクリートの場合は振動ドリル等で穴(φ6mm・深さ30～40mm)をあけ、プラグ3個(付属品)を打ち込み、タッピンねじ3個(付属品)で固定してください。
- ・壁面が木製の場合は、あらかじめ案内穴(φ2.5mm)をあけて、タッピンねじ3個(付属品)で固定してください。
- ・壁面への穴あけ時、他の配管、配線が通っていないことを確認してください。
- ・接着での取り付けはしないでください。落下により重大なけが、または故障の原因となります。
- ・切粉はきれいに除去してください。



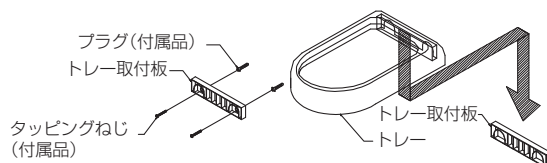
③トレイの取り付け

- ・本体下面から30cm以上のスペースを確保してください。トレイ取付板の穴に合わせて壁面に穴をあけ、ネジ等で固定します。



注意 誤作動防止のため、トレイは必ずご使用ください。

※トレイを図のようにトレイ取付板に合わせ、下にスライドさせて取り付けます。



取説31 タオルウォーマー +リミテッドスペースヒーター

温度(暖まり方)のムラについて

タオルウォーマー、リミテッドスペースヒーターはパイプ内部の不凍液を加熱し、自然対流で熱を伝える仕組みになっています。構造上、場所によっては温度にムラが生じます。

- ・不凍液の膨張による変形や液漏れを防ぐため最上段は空気層になっており、暖まりにくくなっています。
- ・YAER / YSERは全体に熱が行き渡るように内部が複雑な構造となっており、特にH寸が1240mmサイズの型は上から5段目が低温度帯になります。
- ・HJER / MXER(パネルタイプ)はスイッチボックス側の温度に比べ、反対側が低温度帯となります。

